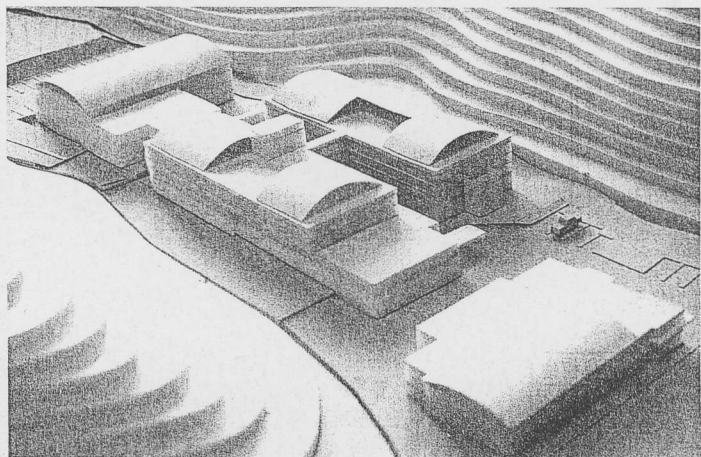


# ユニットケアで地域生活を支援

## 「みずなぎ学園」を新築移転

社会福祉法人みずなぎ  
学園(本部・舞鶴市鹿  
原、隅山充樹理事長)



舞鶴市丸田に新築移転される知的障害者入所更生施設「みずなぎ学園」の模型

は、舞鶴市丸田で知的障害者入所更生施設「みずなぎ学園」の新築移転工事を進めている。新施設は、10人一組の6ユニットで構成し個室化された施設となっており、入居者の地域生活を目指した支援の場となる。来年4月の開所を目指す。

全国的に更生施設の個室化が主流になるなか、兼ねてから保護者からの要望があつたことから、これらの課題を解決するために5年前から新施設の計画策定を始めた。用地取得など、行政や保護者などからの支援を受け、新築移転工事が実現した。

建設する。ここは、バレーボールコート1面分の広さを持ち、地域の交流スペースとしての活用も考える。

入所更生施設の定員は60人。児童から成人を対象にしたショートステイの定員が10人となる。1階にはショートステイと2ユニット(20人)のほか、管理室、ちゅう房などを設置する。2階には4ユニット(40人)を設ける。個室化された部屋は仕切りを外して2人部屋にすることも可能。

施設の設計は、(株)ユニティ建築企画(京都市)、施工は、奥村・西建共同企業体が6億9500万円を請け負った。総事業費は、7億7387万6千円。うち、国・府の補助金が3億7500千円で舞鶴市は、1千万円を拠出して、法人の自己資金が、878万4千円。

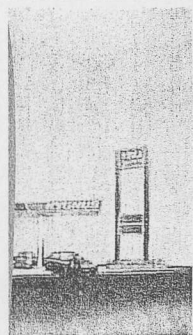
なぎ学園は07763・5030 (会)

## 24時間営業、敷地面積は3437㎡

### 開拓へ に着工

北近畿でガソリンスタンドなどを展開する生活総合商社、村上商事(本社・福知山市土師宮町、村上俊英社長)は4日、丹波市氷上町市辺で北近畿最大のセルフ式給

の建設は、府北部以外に市場を開拓し、より広域的な拡張基盤を構築することが目的。加えて、スカーメルリットを生かしてあらゆる顧客のニーズに対応する。サービスの



容量は、50リットルのタンク10基の計500リットルを設置する。洗車機はドライブスルー型2機を置く。

災害対応型の給油所として整備を進める考えで、敷地内には地域の災害・交通情報などを告知する大型電光パネルを設置も構想に含まれている。

管理室やスタッフルーム、トイレなどが

福知山市の企業誘致の一環として、4千部

同法人が本部所在地で運営する更生施設「みずなぎ学園」は、1983年に開設。定員は60人で開所以来、満床の状態が続いている。しかし、4人部屋ということもあってトラブルも少なくなく、同一敷地内に定員50人の授産施設も併設していることから、食堂などのスペースが十分に確保できず、手狭になっていくのが現状という。

施設の敷地面積は、7350㎡。建物は、鉄筋コンクリート造2階建て延べ3176㎡の更生施設のほか、入居者が陶芸や縫製作業などを行う作業棟(延べ床面積475㎡)と、運動や重度の人が歩行訓練などをするアリーナ(同532㎡)もある。



京都工繊大の京丹後研究センターとして整備される金属工場の跡地(京丹後市網野町丹治山)

京丹後市は、昨年12月に京都市左京区の京都工芸繊維大学と締結した「相互の連携・協力に関する包括協定」に基づき、同市網野町丹治山に同大学の「京丹後研究センター(仮称)」を新設することを決めた。市有地に建つ金属工場跡地の施設を活用するもので予算は4479万円。今秋から研究活動に使われ、面者は、「人」と「知識」の資源の交

その拠点となる同ターは、敷地面積が34㎡で建物は鉄骨階建て。広さは各階30㎡と117㎡。や学生が数カ月間の

## 京丹後市 京都工繊大の研究センター「人」「物」「知識」

ら研究活動に使われ、面者は、「人」と「知識」の資源の交有効な活用で産業育、文化、まちづくりの分野で連携と協すること人材育成の活性化、地域発展を目的とした宣言に調印した。